

鹿角ゼロカーボンラジオ Nice Action!

第13回（1月7日（火）放送分）の概要

今回は、運輸部門の脱炭素化、特に電気自動車について紹介します。

自動車の排気ガスが大気汚染の原因になるというのは、かなり昔から問題になっていましたよね。

そうですね。昔は硫黄酸化物といった特殊なものが検討の対象になっていたのですが、温暖化対策の観点を踏まえ、最近では、二酸化炭素のような空気に普通に含まれるものについても考える必要が出てきたという感じですね。

まず、鹿角市内のCO₂排出量のうち、運輸部門の割合ですが28%となっています。全国平均が19%なのでかなり高いといえます。これは、都市部に比べて自家用車での移動が多いといった点が要因と考えています。

そして、運輸部門のうち97%は自動車によるもので、カーボンニュートラルのためには自動車に対する取り組みが重要であることがわかりますね。

なお、自家用車等の旅客部門とトラック等の貨物部門の割合は1:2となっています。

旅客部門の全体に占める割合は年々減ってきている印象で、これは人口減の影響があるかもしれません。

運輸部門における対策ですが、まずは「自家用車の代わりに公共交通機関を積極的に利用する」というものがあります。たしかに鹿角市にもバスやJRなどがありますが、みなさまの生活上の移動状況を考えた場合、これを進めるのにも限界があるということもよくわかります。この点は、引き続き、それでも何かできるものがあるか考えていきたいと思います。

バス停や駅までがそもそも遠い、本数も少ないとなると、どうしても車に頼らざるを得ません。車を使いつつなにかできる対策はあるのでしょうか？

次に考えられる対策は、ガソリン車から電気自動車に切り替えるといったことです。

これは、CO₂排出量が減るという効果もありますが、海外から燃料を買ってこなくてもよいということで、地域経済活性化にも資する可能性があり、望ましい対策ではあります。

ただ、おそらくみなさまが想像されるとおり、電気自動車にもメリットとデメリットがあります。

まずメリットですが、燃料代が安くすむ、車検代等の維持費も安く済むといったところ です。

デメリットとしては、1 回の充電あたりの走行距離が短めなので、例えばここから秋田市に行く場合でも途中で充電しないといけない車が多いとか、冬には暖房などで電気を多く使ってしまうため、燃料効率がより低くなってしまうといったことなどがあります。

雪道や坂道を難なく走れるパワーがあるのかなども気になります。

確かにその点も重要ですね。特に積雪が多く、坂も多い鹿角では欠かせない視点です。

では、電気自動車に切り替えるべきなのかという点ですが、さまざまな方のコメントなどを踏まえると、「用途や状況に応じて使いわけ」ことがよいと考えます。

具体的には、例えば何台か車をお持ちの場合、鹿角の町中を走るセカンドカーとしては電気自動車を用いるといった考え方ですね。

また、途中での充電を想定し、充電設備がある程度整ってきたらとか、充電待ちが少なくなるように充電器の台数が増えたら、電気自動車を導入するというような考え方もありかと思います。

他にも寒冷地に対応する車であればとか、初期費用の負担がより少なくなったら電気自動車に切り替えるといった判断もあるかもしれません。

太陽光パネルでも電気自動車でも、目先の値段よりも、ランニングコストや長いスパンでの数字を考えることが重要だとわかってきました。今の生活を快適にするというよりも、未来の自分たちの生活環境を整えるために CO2 削減は必要なんですね。

はい、素晴らしいです！でも今の生活の快適さも保ったうえで、色々な取り組みを進めたいとも思っています。